

防災疑似体験を通じて「自助」「互助」の意識を高めよう！
地域包括支援センター大森・特別養護老人ホーム大森 共催
12月4日 災害模擬体験会を開催しました



VR防災体験車 (VR BOSAI)
モーションシートによる各種演出及びヘッドマウントディスプレイのバーチャルリアリティ映像で“これまでになかった臨場感あふれる災害疑似体験”を都内全域で可能にすることにより、都民の防災意識の高揚を促進し、訓練参加に繋げていくための専用大型車両 (出典 東京消防庁ホームページより)



訓練用消火器による
初期消火訓練
コーナー

～ 参加した職員の感想 ～

災害を疑似体験することで、防災に対する意識が高まっただけでなく、いざという時の「自助」「互助」の大切さをあらためて感じる事が出来ました。地域の皆様にも多数ご参加頂く中であらたな「つながり」「顔のみえる関係」が生れたと思います。
大森消防署・特別養護老人ホーム花みずき・NRE 弥生ハイツ・東京都大田福祉工場との連携・協力体制も築くことが出来、大森西地域における社会福祉施設のつながり、今後の安心安全の実現に向けて良い機会となった一日でした。(地域包括支援センター所長)



煙体験コーナー



消防広報・写真撮影コーナー



おおもりキャラクター

「ひまわりん」



高齢者疑似体験コーナー



非常用クラッカーお配りコーナー



12月4日、大森消防署のご協力により、特別養護老人ホーム花みずき駐車場と前面道路をお借りして、災害模擬体験会を開催しました。

当日はVR防災体験、初期消火訓練、煙体験、高齢者疑似体験、消防広報、非常用クラッカー配布等をおこない、1時間の実施時間中に、約100名の方がVR防災体験車に乗車されました。

特別養護老人ホーム花みずき、NRE大森弥生ハイツ、東京都大田福祉工場のみなさんも参加いただきました。道路使用など地域の方々にはご迷惑をおかけいたしました。皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。